

一関市立黄海小学校 学校便り

まのみ

文責：菊池

令和8年
3月11日(水)
NO.23



右 QR コードで黄海小ホームページが閲覧可能です。

感謝の思いを込めて ～6年生を送る会～

2月20日(金)5年生の実行委員会が中心となって「6年生を送る会」が行われました。会の中では、各学年が6年生へ感謝の思いを込めて作った贈り物をプレゼント。6年生と一緒にゲームやクイズを楽しみながら素敵な時間を過ごすことができました。また、6年生からもユニークな寸劇を通してこれからの学校生活にエールが送られました。

1年生から6年生まで一緒になって笑顔で楽しむ姿に、黄海小の子どもたちの仲の良さを感じることができました。実行委員を含めた5年生や在校生の活躍も素晴らしかったです。

卒業まで残りわずかですが、最後まで多くの思い出を作ってほしいと思います。



感謝の思いを込めて -6年生ワックスがけ-

2月27日(金)、卒業を間近に控えた6年生が、これまでお世話になった校舎や体育館をきれいになりたいとの思いから、体育館のワックスがけに取り組みました。6年間の感謝の気持ちと卒業式の会場となる体育館を自分たちの手でピカピカにしようと、時間いっぱい一生懸命に作業に当たりました。きれいな体育館で、修了式、そして卒業式を迎えられそうです。



本の楽しさを ~ブックトーク~

まなびフェストに記されている通り、子どもたちは年間読書目標冊数が設定されていて、読書を楽しむ姿が見られます。

子どもたちに、藤沢図書館の方々から本との出会いの時間を提供いただき、ブックトークが開催されました。たくさんのテーマに沿った本の紹介で、子どもたちも本の世界に引き込まれている様子でした。



復興・防災を学ぶ~復興を考える日集会~

3月11日は、東日本大震災がおきた日です。黄海小学校でも、震災の教訓をもとに「復興を考える日」としており、これまで、復興や防災について全校で学習してきました。

今回は、(株)岩手日報社 一関支社長の太田代剛さんを講師にお招きして、「東日本大震災について考える日」集会を行いました。

お話の中で、地震のメカニズムや当時の様子、「津波てんでんこ」の考え方や、「毎日を大切に生きること」について教えていただきました。

子どもたちも真剣な眼差しでお話を聞き、災害や防災について理解を深めていました。(以下、児童の感想の一部を紹介します。)



今日の集会では、東日本大震災の最大震度やどんな様子だったかを教えてもらいました。

今、命があることに感謝したいし、これからの生活でも「何かしておけばよかった」と後悔しないようにしていきたいと思いました。

O. S.

(亡くなった方々にも)いろいろな人がいて、いろいろな事情があって、その人と会話をかわして、「最後だと分かっていたなら」と、たくさんの人が思っていたから、いつもみんなと仲良くすることが大切だと思います。

H. M.

今日は、「3.11」について教えていただきました。私は、その時生まれていなかったのですが、震災について詳しく知ることができました。東日本大震災で亡くなった方々には、安らかにねむってほしいし、私も普段から感謝の気持ちをもって生きていきたいです。

S. E.

自然災害のこわさを改めて感じました。家族や他の人のために戻って亡くなってしまった方もいて、とても悲しい出来事だったのだと思いました。「津波てんでんこ」についても教えていただき、もしもの時に思い出したいと思いました。忘れないようにしたいです。日頃からしっかり備えておいたり、避難場所を確認しておいたりすることが大切だと感じました。今日学んだことをこれからは生かしていきたいです。

S. Y.

入賞おめでとう

○ 令和7年度「和算に挑戦」 ○ 初級の部 【和算博士賞】 5年：T. Y.

○ 令和7年度方言川柳大会 ○

【特選】 5年：I. K. (前号で紹介した後、事務局から入賞の連絡がありました。)



校報HP版では、児童名をイニシャルで表しております。